

事業実施主体等取組評価報告書(経営力の強化を目的とした整備事業)

都道府県名	宮城県	報告年度	平成20年度
-------	-----	------	--------

事業実施年度	市町村名	地区名	整備事業の取組内容	成果目標	目標値		事業実施後の状況			達成率	事業費 (千円)	負担区分(千円)				点検結果及び講じようとする措置又は点検評価及び講じようとする指導
					計画時	目標年	1年度目	2年度目	3年度目			交付金	都道府県費	市町村費	その他	
H18	美里町	町区	水田農業経営構造確立緊急対策	利用集積率	49.1%	82.3%	57.0%	98.9%	98.9%	150.0%	46,659	16,388	3,540	4,484	22,247	集落営農組織の設立により、計画的な土地利用調整が可能となり成果目標が達成された。よって評価を終了する。
H19	美里町	荻埜南	集落営農育成・確保緊急整備支援	集落営農の組織化(特定農業団体の設立)	0組織	1組織	1組織	1組織	-	100%	13,587	6,465	0	1,293	5,819	成果目標を達成した。
				品目横断的経営安定対策への加入対象者となる	0	1	1	1	-	100%						
				農用地の利用集積面積	0ha	49.1ha	41.1ha	49.7ha	-	101.2%						
				農用地の利用集積	0%	70.1%	58.7%	71.0%	-	101.2%						
H19	美里町	北浦西部	集落営農育成・確保緊急整備支援	集落営農の組織化(特定農業団体と同等の要件を満たす組織の設立)	0組織	1組織	1組織	1組織	-	100%	14,070	6,700	0	1,340	6,030	成果目標を達成した。
				品目横断的経営安定対策への加入対象者となる	0	1	1	1	-	100%						
				農用地の利用集積面積	0ha	60ha	50.6ha	64.7ha	-	107.8%						
				農用地の利用集積率	0%	69.0%	58.2%	74.5%	-	107.9%						
H19	角田市	島田	集落営農育成・確保緊急整備支援	集落営農の組織数	1組織	1組織	1組織	1組織	-	100%	2,039	1,019	0	0	1,020	集落内で土地利用調整をおこない、構成員の農地は集積したが、当初見込んだ作業受託は、出して農家との調整がつかず農地を集めることができなかったため、農用地利用集積の目標を達成できなかった。今後は生産組合の会合等に角田市が出席し、土地利用調整を支援する。平成21年度の農地の利用集積については30haを達成する見込みとなっている。これまで、県では土地利用調整組織の設立等支援してきたが、今後は土地利用調整組織の活動支援を角田限東改良区、角田市と連携し、集積をさらに推進する。
				農用地の利用集積面積	26ha	30ha	27.4ha	29.1ha	-	77.5%						
				農用地の利用集積率	57.8%	66.7%	60.9%	64.7%	-	77.5%						

目標年度	平成20年度	第三者機関 の開催年月日	平成21年2月24日	事業実施主体	みどりの農業協同組合(美里町)	整備施設等	高生産性農業用機械施設 育苗施設
第三者機関によって審議した内容及び意見				第三者機関の意見を踏まえて都道府県が事業実施主体に対して指導した内容			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の達成状況、施設等の利用状況について 						
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の利用集積率は、中埜町上集落営農生産組合及び町下管農生産組合の設立により地区内農用地のほとんどが集積された。 ・高生産性農業用機械施設の利用計画39.04haに対する平成20年度の利用状況(処理面積)は自脱型コンバインについては、30.08ha(78.8%)、乗用トラクターは44.01ha(112.7%)、田植機は31.67ha(81.1%)と概ね良好に利用されているが、今後も利用向上に向けた努力が必要である。 ・育苗施設の利用計画21.70haに対する平成20年度の利用状況は22.97ha(105.9%)と良好に利用されている。 						
	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織の設立により、計画的な土地利用調整が可能となり成果目標が達成された。よって評価を終了する。 ・今後も既存の機械施設との調整を継続し、導入した機械施設の利用向上を図ることが必要。 						